

別記第4号様式の2(第4条の2関係)

年 月 日

北海道知事 様

申請者

住所	〒 電話番号
名称	
代表者の氏名	⑩

認定鳥獣捕獲等事業認定申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の2第1項の規定により、次の鳥獣捕獲等事業が同法第18条の5第1項に規定する基準に適合していることについて認定を受けたいので、申請します。

鳥獣捕獲等事業により捕獲等をする鳥獣の種類及びその方法	装薬銃を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	1 ニホンジカ 2 イノシシ 3 ヒグマ 4 ツキノワグマ 5 ニホンザル 6 その他 ( )
	空気銃を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
	わなを使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
	網を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
鳥獣捕獲等事業の実施体制	事業管理責任者の役職・氏名	
	捕獲従事者 安全管理体制	別紙捕獲従事者名簿のとおり 別添資料のとおり
	夜間銃猟の実施	1 有 2 無
鳥獣捕獲等事業に従事する者の技能及び知識		
鳥獣捕獲等事業に従事する者に対する研修の実施		

別紙

捕獲従事者名簿

氏名	生年月日	狩猟免許の種類	銃器を使用する場合		救急救命講習の受講の有無
			銃砲の種類	夜間銃猟をする者	

- 注1 数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 2 申請者の住所欄には、主たる事業所の所在地を記載すること。
- 3 鳥獣捕獲等事業により捕獲等をする鳥獣の種類及びその方法欄には、装薬銃・空気銃・わな・網ごとに対象とする全ての鳥獣を記載すること。
- 4 鳥獣捕獲等事業の実施体制欄のうち、捕獲従事者欄については捕獲従事者名簿を添付すること。
- 5 捕獲従事者名簿の記載に当たっては、次の事項に留意すること。
- (1) 全ての捕獲従事者は、安全管理講習及び技能知識講習を修了していること。
  - (2) 狩猟免許の種類欄には、捕獲従事者が現に受けている全ての狩猟免許の種類（第1種銃猟免許、第2種銃猟免許、わな猟免許、網猟免許）を記載すること。
  - (3) 銃器を使用する場合は、銃砲の種類欄を記載することとし、当該捕獲従事者が鳥獣捕獲等事業で使用する全ての銃砲の種類（散弾銃、ライフル銃、空気銃等）を記載すること。
  - (4) 夜間銃猟を実施する場合は、捕獲従事者のうち実際に夜間銃猟をする者について、夜間銃猟をする者欄に○を記載すること。なお、全ての夜間銃猟をする者は、夜間銃猟安全管理講習を修了しているとともに、夜間銃猟の技能要件を満たすこと。
  - (5) 救急救命講習の受講の有無欄については、当該捕獲従事者が受講している場合に○を記入すること。なお、捕獲従事者の半数以上が受講していること。
- 6 鳥獣捕獲等事業の実施体制欄のうち、安全管理体制欄の添付書類は、安全管理規程及び安全管理講習に関する書類とし、夜間銃猟の実施欄の添付書類は、夜間銃猟安全管理規程及び夜間銃猟安全管理講習に関する書類とする。
- 7 鳥獣捕獲等事業に従事する者の技能及び知識欄の添付書類は、技能知識講習に関する書類とする。
- 8 鳥獣捕獲等事業に従事する者に対する研修の実施欄の添付書類は、研修に関する書類とする。
- 9 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。
- 10 添付書類は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第19条の2第2項に定めるもののほか、知事が必要と認める書類とする。
- 11 氏名欄に署名した場合、押印を省略できます。
- 12 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。